

しょうがくせい みな  
小学生の皆さんへ

きょう がつ さわ かぜ こも び とど おも しゃしん と  
今日は、5月の爽やかな風と木漏れ日をお届けしたいと思います。この写真は、どこで撮ったものかわかりま  
すか。お茶室の入り口付近です。風を受けて優しく揺れる木漏れ日を眺めているだけで、とても落ち着く  
ばしょ  
場所です。

ひかり きせつ はる ひかり とく はる ひかり うつく たいよう じょじょ たか そと  
光には季節がありますね。「春の光」というように、特に春は光が美しいです。太陽が徐々に高くなり、外  
あか じかん ひ ひ なが あか やわ ひかり しぜん うつく かがや ひかり  
が明るい時間も日に日に長くなるからでしょう。明るく柔らかい光、自然を美しく輝かせてくれる光です。

かぜ きせつ かぜかお ごがつ てがみ あいさつ もち あおばわかば なか ふ さわ  
風にも季節があります。「風薫る五月」とお手紙の挨拶で用いられるように、青葉若葉の中を吹きわたり、爽  
やかで新緑の香りを感じさせられる夏の初めらしい風です。

おばやし おか いま ひかり かぜ み  
小林の丘は、今、そんな光と風に満ちています。

こうてい ある ひかり かぜ かん よ ひかり したが くらやみ なか ある  
校庭を歩きながら光と風を感じていると、「わたしは世の光である。わたしに従うものは暗闇の中を歩か  
ず、命の光を持つ。」(ヨハネによる福音書8:12)とおっしゃったイエス様を思い出します。光というと、ま  
ばゆいばかりに差し込む強烈な光を想像しがちですが、イエス様という光は、春の光に近いのではない  
でしょうか。温かく生き活きとした「命の光」です。

また、イエス様は風です。復活なさった後、イエス様は弟子たちの真ん中に立ち、彼らに息を吹きかけて(風  
を送り)、「聖霊を受けなさい」とおっしゃいました。(ヨハネによる福音書20:22)聖霊は神様の「愛の息吹  
(風)」です。一人ひとりの生命の始まりに、生きるようにと鼻に吹き入れてくださった「命の息」です。この

よ しみい お てん みくに あ さま いま すがた み かがみさま あい いぶき  
世での使命を終えて天の御国に上げられたイエス様は、今は姿が見えませんが、神様とともに愛の息吹を  
ずっと送り続けてくださっているのです。

おばやし おか み ひかり かぜ みな とど  
小林の丘に満ちる光と風が皆さんのもとに届きますように。そして

わたし やわ さわ い い きょう す  
私たちも、柔らかく、爽やかに、そして、生き活きと、今日も過ごせ  
ますように。



